

# 開催概要

## 第13回海ごみサミット 2015 長崎・五島会議

～国際連携の進展と海洋ごみの活用について考える～

### ■ 開催趣旨

海ごみサミットは、深刻化する海洋ごみ問題の改善に向けて、2003年から毎年、テーマと開催地を変えて開催してきました。年に一度、国や自治体などの行政関係者、NGO/NPO、民間事業者、研究者、住民などの関係者が一堂に会し、開催地域の課題や状況などを共有し、具体的な対策について意見を交わしてきました。

今年6月に開催された「G7 エルマウ・サミット」では、初めて首脳宣言に海洋ごみ、特にプラスチックごみが世界的課題となっていると認識されたことが明記され、附属書において「海洋ごみ問題に対処するための行動計画」が盛り込まれました。この状況について、世界的に海洋ごみ問題への認識があらたな段階に入ったととらえ、これまでに積み上げてきた国内外の関係者との連携をさらに発展させていくため、「国際連携の進展」を主なテーマに掲げ、長崎県五島市において開催します。

### ■ 開催日及び会場

○開催日 2015(平成27)年 10月23日(金)～25日(日)

○会場 フィールドワーク: 長崎県五島市 岐宿町八朔海岸ほか  
交流ワークショップ、全体討議等: 長崎県五島市 福江文化会館 3階展示室

○資料代 2,000円、五島市民優待価格 1,000円(大学生以下は無料)  
交流懇親会 4,500円、学生 3,000円(100名程度)

### ■ 主催等

○主催 一般社団法人JEAN、長崎県

○共催 五島市

○後援 環境省、国土交通省、外務省、水産庁、海上保安庁、国連環境計画北西太平洋地域海行動計画、公益財団法人日本離島センター、全国離島振興協議会、漂着物学会

○協力 NPO法人環境カウンセリング協会長崎、ながさき海援隊、NPO法人アクロス五島  
NPO法人パートナーシップオフィスほか

### ■ お問い合わせ・お申し込み

一般社団法人JEAN

〒185-0021 東京都国分寺市南町3-4-12-202 tel:042-322-0712 fax:042-324-8252  
e-mail:cleanup@jean.jp URL: <http://jean.jp/>

### ■ プログラム(予定)

開催日程	内容	
10/23 (金)	フィールドワーク	
	09:30 受付開始 10:00 出発	貸切バスによる移動(福江文化会館および五島福江空港発)
	10:40～11:20	岐宿町八朔海岸(浜田海水浴場ほか)でのクリーンアップ活動(小雨決行)
	11:20 出発	高浜海岸・頓泊海岸視察(現地で昼食休憩)貸切バスによる移動
	荒天時 10:00 ～12:00	*フィールドワークが困難な荒天の場合は、五島観光歴史資料館の見学と五島市の海岸漂着ごみの状況などの説明を伺います

10/23 (金)	13:30	福江文化会館到着、全体受付
	<b>交流ワークショップ</b>	
	14:00 開始 17:00 終了	4～5人ずつのグループに分かれて、日頃の活動や取り組みの中で抱えている課題を出し合う交流ワークショップを、ワールドカフェの方式で行います

10/24 (土)	<b>【第1部】 テーマ「広げよう・強めよう国際連携～進展の課題は?～」</b>	
	08:30	受付開始
	09:00～12:30	<p>開会挨拶 長崎県環境部長 太田彰幸・JEAN 金子博          歓迎挨拶 五島市長 野口市太郎          来賓挨拶 環境省大臣官房 早水輝好審議官(予定)          海ごみサミットの経緯とこれまでの取り組みについて JEAN          会議の目的について、1日目の清掃と交流WSの報告</p> <p><b>【報告】</b>・日本における取り組み(環境省海洋環境室ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国での活動紹介 上海仁渡海洋公益発展中心 劉 永龍</li> <li>・国際連携の事例紹介と連携を進めるための提案</li> </ul> <p>韓国 OSEAN イ・ジョンミョン          台湾 黒潮海洋文教基金会 チャン・タイディ          沖縄 しかたに自然案内 鹿谷 麻夕</p>
	12:30～13:45	昼食 会場近隣で各自(ランチマップ配布)
	＜全体討議＞ 国際連携をもっと進めるにはどうしたらいいのか？	
	13:45～15:30	<p>コーディネーター:人と組織と地球のための国際研究所代表 川北秀人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北太平洋地域での国際連携について</li> </ul> <p>ワールドオーシャンコレクティブ/JEAN 横田 花子</p>
	15:30	休憩
	<b>【第2部】 テーマ「海洋ごみを地域振興に活用するには」</b>	
	15:45～17:30	<p>(1) 日本国内の取り組み事例</p> <p>山形県 飛島クリーンツーリズムについて 合同会社とびしま 松本友哉          島根県 隠岐世界ジオパークでの海洋ごみへの視点          隠岐世界ジオパーク推進協議会 野辺一寛          長崎県 壱岐での活動と行政との連携 チーム防人 中山忠治</p> <p>(2) 韓国の取り組み事例</p> <p>スローシティの島チュンド(曾島)での取り組みについて          新安多島海島干潟研究所 ユ ヨンオブ</p>
	17:30	閉会
	18:30	交流懇親会 (会費制)

＜グループ討議＞ 海洋ごみ問題を題材にした地域振興を考える		
10/25 (日)	08:45	受付開始
	09:00	09:00 グループ討議の進め方説明 09:10～グループ討議 ※1 グループ参加者7～8名、発表者1名。 発表者から活動紹介と海洋ごみ問題について実施してみたい事業の説明を聞き、事業実現のためのプログラム化を話し合う ※グループ討議発表団体 チーム防人/美しい対馬の海ネットワーク/DONDON 奈留/誇れるふるさとネットワーク/ながさき海援隊/長崎ビーチサービス/環境カウンセリング協会長崎/合同会社とびしま/ほか
	10:30	グループごとに提案発表
	11:15	総括討議 コーディネーター 川北秀人
	12:00	閉会